



取扱説明書 (ブラウザー設定編)

デジタル会議システム

TS-D1000 シリーズ

このたびは、TOA デジタル会議システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書（ブラウザー設定編）をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目 次

設定概要	3
システム要件	3
接続のしかた	4
画面の切り換えかた	5
録音ファイルのダウンロードおよび削除	6
会議の設定を行う	8
ログの確認およびダウンロード	11
時刻を設定する	13
接続状況を確認する	14
会議ユニットの ID 番号を再設定する	15
詳細設定を行う	16
詳細設定画面の表示	16
機器設定	17
ファームウェアを更新する	19
工場出荷時の設定に戻す	21
使用する言語を設定する	22

設定概要

パソコンとマスターコントロールユニット TS-D1000-MU を LAN ケーブルで接続することで、パソコンのブラウザから下記のような機能設定や操作、メンテナンスが行えます。

[本体設定]

- ネットワーク設定／アカウント設定
- 時刻設定

[機能設定]

- 会議モードの設定
- 同時発言者数の設定
- マイクオートオフ機能の設定
- 議長ユニット優先発言の操作方法設定
- 議長ユニット優先発言チャイム音の設定
- 会議ユニットのモニタースピーカー音量の設定
- 発言中会議ユニットのミュート設定

[操作]

- 録音ファイルダウンロードおよび削除
- ログの確認およびダウンロード
- 接続状況の確認
- 会議ユニットの ID 番号の再設定

[メンテナンス機能]

- ファームウェア更新
- 初期化（工場出荷時に戻す）
- 表示言語の設定

システム要件

パソコンのシステム要件は下記のとおりです。

OS	Windows 10 (64bit)、Windows 11
ブラウザ	Google Chrome、Microsoft Edge、Mozilla Firefox

パソコンのネットワーク設定を「IP アドレスを自動的に取得する」に設定してください。ネットワーク設定方法は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

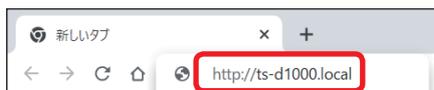
※ Windows および Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※ Google Chrome は米国およびその他の国における Google LLC の商標です。

※ Mozilla および Firefox は米国およびその他の国における The Mozilla Foundation の商標です。

接続のしかた

1 ブラウザーを起動し、アドレス欄に URL を入力する。



※この画面は Google Chrome のものです。

URL	工場出荷時の例
http:// <ホスト名> .local	http://ts-d1000.local

メモ

工場出荷時にはホスト名は ts-d1000 に設定されています。(P. 18)

接続されると、ログイン画面が表示されます。

ご注意

接続ができない場合は、以下の項目を確認してください。

ネットワーク設定方法は、ネットワーク管理者にご相談ください。

- パソコンがシステム要件を満たしていますか？
- パソコンのネットワーク設定は「IP アドレスを自動的に取得する」になっていますか？
- パソコンのネットワーク設定がプロキシサーバーを経由する設定になっていませんか？

2 ユーザー名、パスワードを入力して、ログインボタンをクリックする。

ログインが完了すると、録音画面が表示されます。

ご注意

同時に複数のパソコンから接続しないでください。

メモ

- 工場出荷時のユーザー名、パスワードは次のとおりです。
ユーザー名：tsd1000user
パスワード：tsd1000pass
- ユーザー名、パスワードの変更のしかたは、P. 17「機器設定」をお読みください。

画面の切り換えかた

パソコンと TS-D1000-MU を接続 (P. 4) した後、ブラウザー画面上部のメニューバーで次の画面名またはアイコンをクリックして各画面に切り換えます。各画面で必要な設定を行ったり、操作を行ったりします。



	画面名またはアイコン	内容
①	録音画面	録音ファイルのダウンロードや削除を行います。(P. 4)
②	会議画面	会議ユニットに関する設定をします。(P. 8)
③	ログ画面	ログのダウンロードや削除を行います。(P. 11)
④	時刻設定画面	時刻に関する設定をします。(P. 13)
⑤	接続確認画面	会議ユニットの接続状況を確認します。会議ユニットの ID 番号の再設定もできます。(P. 14)
⑥	詳細設定アイコン	詳細設定を行います。(P. 16)

録音ファイルのダウンロードおよび削除

パソコンとTS-D1000-MUを接続（[P. 4](#)）した後、ブラウザ画面上部のメニューバーで「録音」をクリックすると、録音画面が表示されます。

この画面では、録音メディアの録音ファイルをダウンロードしたり、削除したりできます。

The screenshot shows the TOA recording interface. At the top, there is a navigation bar with '録音' (Recording) selected. Below it, the '録音ファイル' (Recording Files) section is visible. A dropdown menu for '録音先' (Recording Destination) is set to '内蔵メモリー' (Built-in Memory). The remaining capacity is shown as '残容量: 1,017 / 1,091分'. A table lists several MP3 files with their names and durations. To the right of the table, there is a '全削除' (Delete All) button and individual download and delete icons for each file. Red circles and boxes highlight specific elements: ① the recording destination dropdown, ② the remaining capacity, ③ the first file row, ④ the '全削除' button, ⑤ the download icon, and ⑥ the delete icon.

ファイル名	長さ	
20191111_115856.mp3	60:00	⑤ ⑥
20191111_131651.mp3	02:25	⑤ ⑥
20191111_125857.mp3	08:29	⑤ ⑥
20190924_101214.mp3	00:09	⑤ ⑥
20190927_140730.mp3	00:10	⑤ ⑥
20191008_200613.mp3	00:22	⑤ ⑥
20191106_184539.mp3	02:26	⑤ ⑥

① 録音先

内容を表示する録音メディアをプルダウンメニューで選択します。

選択範囲：内蔵メモリー、USBメモリー

② 容量

録音メディアの残り容量と全容量が表示されます。

表示は、「(残り時間) / (録音可能時間) 分」の形式です。

③ ファイル名・長さ

録音ファイル名と録音時間を表示します。

ご注意

変更はできません。

④ 全削除ボタン

すべての録音ファイルを削除するときにクリックします。

クリックすると確認ダイアログが表示されますので、削除ボタンをクリックしてください。

ご注意

全削除できるのは内蔵メモリーのみです。USBメモリーは全削除できません。

⑤ **ダウンロードアイコン**

パソコンに録音ファイルをダウンロードするときに、該当する録音ファイル名の右にあるダウンロードアイコンをクリックします。

メモ

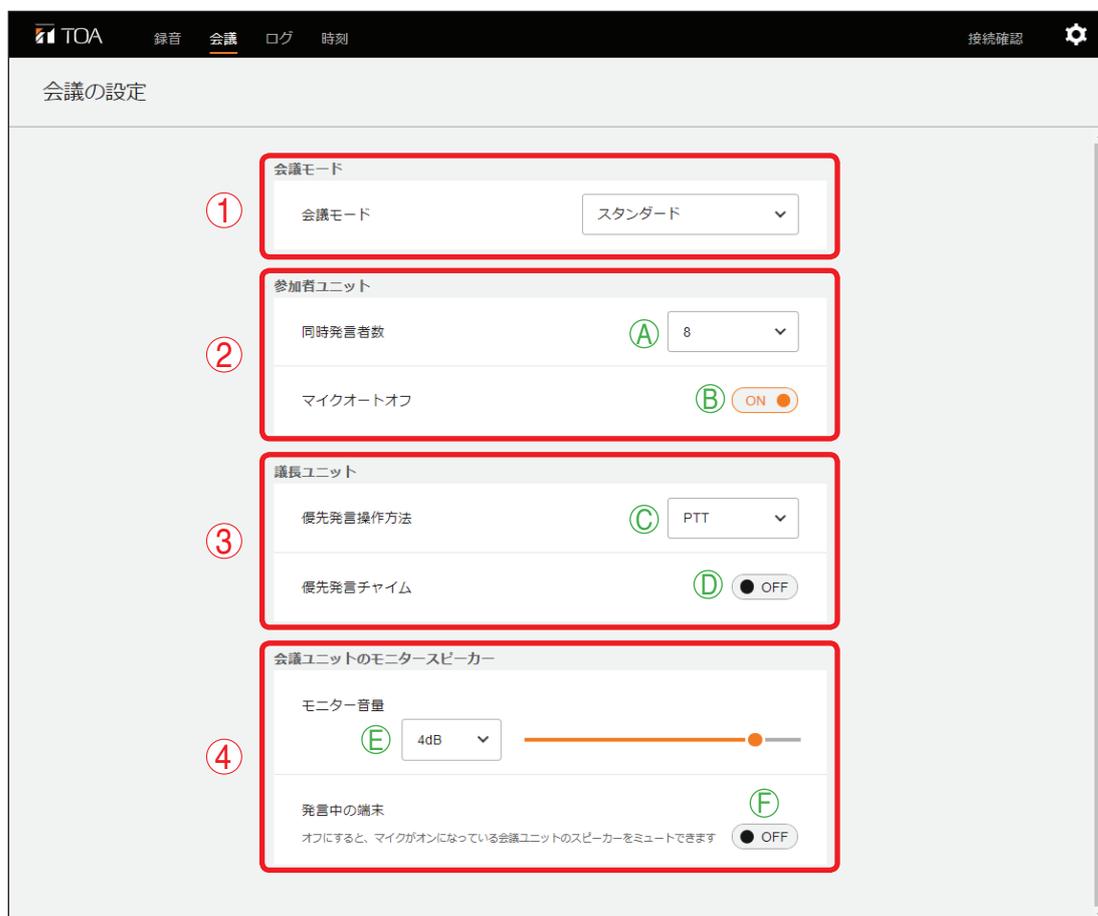
ダウンロードしても、録音メディアからは削除されません。

⑥ **削除アイコン**

録音ファイルを個別に削除するときに、該当する録音ファイル名の右にある削除アイコンをクリックします。

会議の設定を行う

パソコンとTS-D1000-MUを接続（[P. 4](#)）した後、ブラウザ画面上部のメニューバーで「会議」をクリックすると、会議画面が表示されます。
この画面では、会議ユニットに関する設定ができます。



① 会議モード

会議ユニットの会議モードを設定します。

設定範囲 : スタンダード、オーバーライド、ボイスアクティベーション、議長単独

工場出荷時設定 : スタンダード

各会議モードの動作は次のとおりです。

会議モード	説明
スタンダード (工場出荷時の設定)	発言キーを先に押した順に発言開始できます。 同時発言者数を超過して発言キーを押したとき、その会議ユニットは発言できません (先押し優先)。 議長ユニットはいつでも発言できます (最大 2 台まで)。
オーバーライド	発言キーを押すといつでも発言開始できます。 同時発言者数を超過して発言キーを押したとき、最初に発言を開始した端末が発言終了し、新しく発言キーを押した端末が発言開始します (後押し優先)。 議長ユニットはいつでも発言できます (最大 2 台まで)。
ボイス アクティベーション	マイクロホンに向かって話すことによって発言開始できます。発言キーによる操作はできません。 参加者ユニットは 8 台まで、議長ユニットは 2 台まで同時に発言ができます。 マイクロホンがオンになった会議ユニットから 2 秒間発言がないと発言終了とみなし、自動的にマイクロホンがオフになります。 8 台の参加者ユニットが発言しているときに、9 台目の参加者ユニットのマイクロホンに向かって話しても、9 台目の参加者ユニットは発言開始できません (先起動優先)。
議長単独	議長ユニットのみ発言できます。(最大 2 台まで)。参加者ユニットからは発言できません。

② 参加者ユニット

	名称	内容
A	同時発言者数	同時に発言できる参加者ユニットの台数を設定します。 設定範囲 : 1 ~ 8 工場出荷時設定 : 8 メ モ この台数に議長ユニットは含まれません。
B	マイクオートオフ	マイクオートオフ機能を使用するときに ON にします。 設定範囲 : ON、OFF 工場出荷時設定 : OFF メ モ マイクオートオフは、発言中の会議ユニットから 30 秒間発言がないと発言終了と判断し、マイクをオフにする機能です。

③ 議長ユニット

	名称	内容
C	優先発言操作方法	議長ユニットで優先発言をするときの操作方法を設定します。 設定範囲 : PTT、ALT 工場出荷時設定 : PTT ☒ ☐ それぞれに設定したときの動作は次のとおりです。 PTT: 優先発言キーを押している間だけ発言することができます。 ALT: 優先発言キーを押すと発言が開始され、もう一度押すと発言が終了します。
D	優先発言チャイム	議長ユニットで優先発言キーを押したときにチャイム音 (1音チャイム) を鳴らすかどうかを設定します。 設定範囲 : ON (鳴らす)、OFF (鳴らさない) 工場出荷時設定 : ON

④ 会議ユニットのモニタースピーカー

	名称	内容
E	モニター音量	会議ユニットのモニタースピーカー音量を設定します。 設定範囲 : -20 dB ~ 8 dB (2 dB ステップ)、ミュート 工場出荷時設定 : 0 dB ☒ ☐ 発言中の会議ユニットは、話者が話しやすくなるように、発言していないときより音声ボリュームが下がります。
F	発言中の端末	発言中の会議ユニットのモニタースピーカーの入/切を設定します。 設定範囲 : ON (入)、OFF (切) 工場出荷時設定 : ON ☒ ☐ ハウリングが起こるなどの場合は、モニタースピーカーを OFF に設定します。

ログの確認およびダウンロード

パソコンとTS-D1000-MUを接続（[P.4](#)）した後、ブラウザ画面上部のメニューバーで「ログ」をクリックすると、ログ画面が表示されます。
この画面では、ログをダウンロードしたり、削除したりできます。

タイプ	発生時刻	要因	イベント内容	オプション
操作	2020-01-06 10:21:16	MU	32: 発言者リスト6~10	0:0:0:0
操作	2020-01-06 10:21:16	MU	31: 発言者リスト1~5	0:0:0:2
操作	2020-01-06 10:21:16	CU/DU2	11: 発言開始要求	
操作	2020-01-06 10:21:09	MU	29: 会議ユニットSP音量設定	モニタースピーカー音量のレベル:+2dB
操作	2020-01-06 10:21:00	MU	32: 発言者リスト6~10	0:0:0:0
操作	2020-01-06 10:21:00	MU	31: 発言者リスト1~5	0:0:0:0
操作	2020-01-06 10:21:00	CU/DU1	14: 優先発言終了要求	
操作	2020-01-06 10:20:59	MU	32: 発言者リスト6~10	0:0:0:1:0
操作	2020-01-06 10:20:59	MU	31: 発言者リスト1~5	0:0:0:0:0
操作	2020-01-06 10:20:59	CU/DU1	13: 優先発言要求	
操作	2020-01-06 10:20:59	MU	32: 発言者リスト6~10	0:0:0:0:0
操作	2020-01-06 10:20:59	MU	31: 発言者リスト1~5	0:0:0:2:0
操作	2020-01-06 10:20:59	CU/DU2	11: 発言開始要求	
操作	2020-01-06 10:20:58	MU	32: 発言者リスト6~10	0:0:0:0:0
操作	2020-01-06 10:20:58	MU	31: 発言者リスト1~5	0:0:0:0:0

① 種類切り換え

表示されるログの種類を切り換えます。必要なログを選択します。

設定範囲 : ユーザー、システム

メ モ

- ログの内容は次のとおりです。
ユーザーログ : すべてのログ (システムログも含む)
システムログ : 異常を示すログ
- 表示可能な行数は次のとおりです。
ユーザーログ : 1000 件 (50 行 × 20 ページ)
システムログ : 200 件 (50 行 × 4 ページ)

② ダウンロードアイコン

表示されているログファイルをパソコンにダウンロードするときにクリックします。

メ モ

- ダウンロードしても、ログは削除されません。
- ログファイルは JSON 形式です。

③ 削除アイコン

表示されているログを削除するときにクリックします。

クリックすると確認ダイアログが表示されますので、削除ボタンをクリックしてください。

④ ログ件数表示

ログの総行数と、現在表示されているページの行数が表示されます。

表示は、「(現在表示されているページの行数) 行 / (総行数) 行」の形式です。

⑤ ページ送り

ログをページ単位で送ったり戻したりできます。

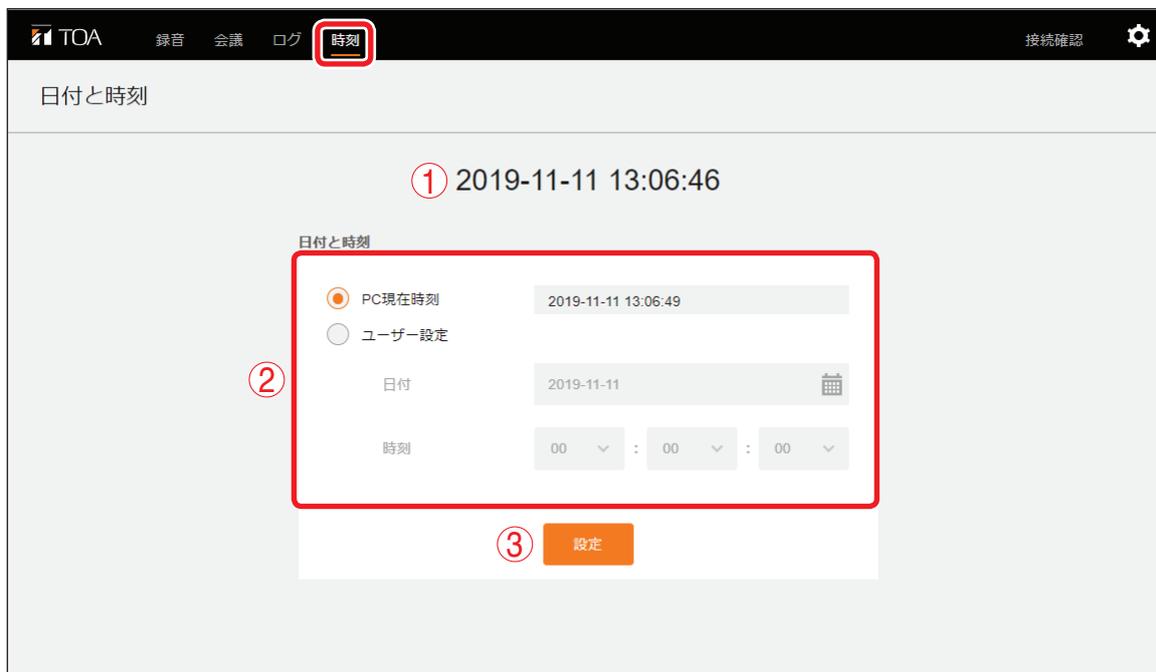
「次へ」をクリックすると次のページが表示され、「戻る」をクリックすると前のページが表示されます。

⑥ ログ

選択した種類のログが表示されます。

時刻を設定する

パソコンとTS-D1000-MUを接続（P. 4）した後、ブラウザ画面上部のメニューバーで「時刻」をクリックすると、時刻設定画面が表示されます。この画面では、時刻に関する設定を行うことができます。



① 時刻

時刻設定画面を開いたとき、または時刻を設定したときの、TS-D1000-MUの内蔵時計の時刻が表示されます。

② 設定方法の選択

パソコンの時刻に合わせるとき：

「PC 現在時刻」ラジオボタンをクリックします。

メモ

右側の枠内にはパソコンの時刻が表示されています。

任意の日時に設定したいとき：

「ユーザー設定」ラジオボタンをクリックします。任意の日時は「日付」と「時間」で選択します。

日付	枠の右端にあるカレンダーアイコンをクリックするとカレンダーが表示されます。設定したい日をクリックして選択します。
時間	「時」「分」「秒」の数値をそれぞれプルダウンメニューから選択します。

③ 設定ボタン

設定したい内容の選択が終了した後にクリックします。TS-D1000-MUの内蔵時計が選択した内容に更新されます。

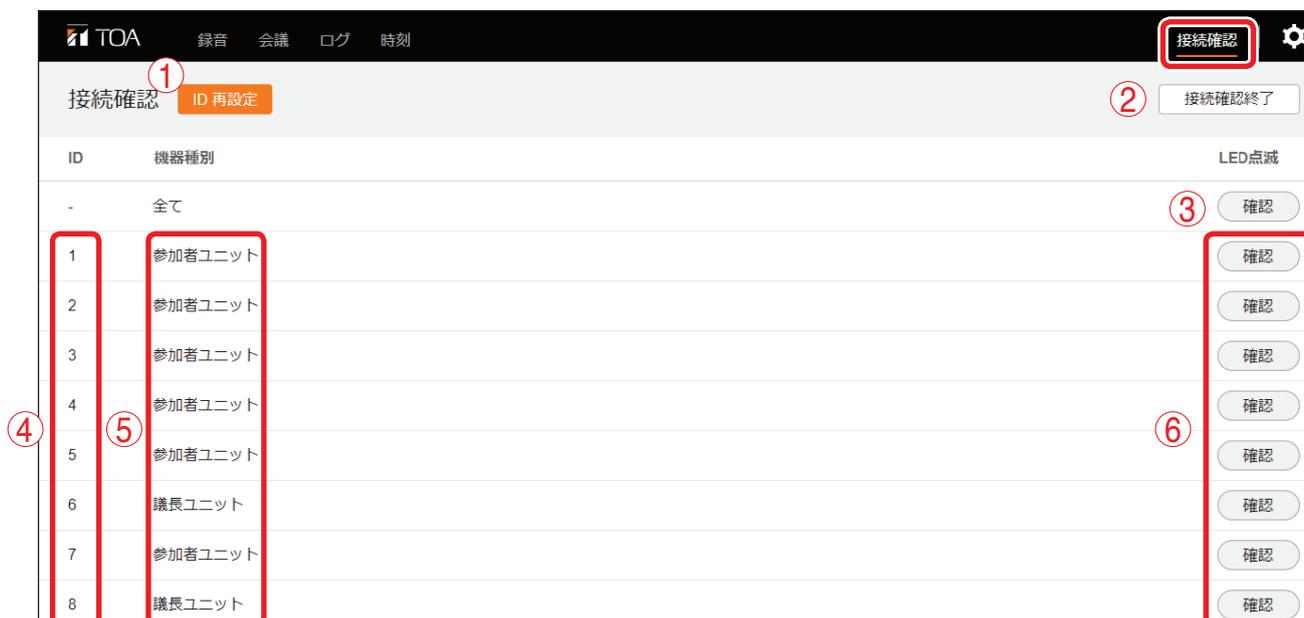
[時刻設定の手順]

1 設定方法を選択し、任意の日時に設定したいときは日時を指定する。

2 設定ボタンをクリックする。
時刻が設定されます。

接続状況を確認する

パソコンとTS-D1000-MUを接続（[P. 4](#)）した後、ブラウザ画面上部のメニューバーで「接続確認」をクリックすると、接続確認画面が表示されます。



① ID 再設定ボタン

会議ユニットの ID 番号を再設定するときにクリックします。
再設定のしかたは[次ページ](#)をお読みください。

② 接続確認終了ボタン

接続確認を終了するときにクリックします。

③ 全機接続確認ボタン

すべての会議ユニットが正常に接続されているかチェックしたいときにクリックします。クリックすると、すべてのマイクの表示灯が点滅します。もう一度クリックすると消灯します。

④ ID 番号

会議ユニットに設定されている ID 番号です。変更できません。

⑤ 機器名称

会議ユニットの機器名称として、「議長ユニット」または「参加者ユニット」が表示されます。変更できません。

⑥ 接続確認ボタン

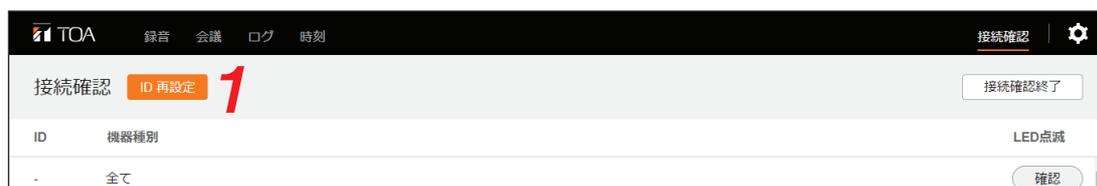
特定の会議ユニットが正常に接続されているか、1台ずつチェックしたいときにクリックします。クリックすると、対応する ID 番号のマイクの表示灯が点滅します。もう一度クリックすると消灯します。

ご注意

任意の複数の会議ユニットを同時にチェックすることはできません。

■ 会議ユニットの ID 番号を再設定する

正しく接続されていても、ID 番号の重複などが原因で、接続確認ボタンをクリックしてもマイクの表示灯が正常に点滅しない場合があります。その場合は、会議ユニットの ID 番号を再設定してください。会議ユニットの ID 番号を一旦すべて消去し再設定する手順は、次のとおりです。



1 ID 再設定ボタンをクリックする。
確認画面が表示されます。

2 再設定ボタンをクリックする。
会議ユニットの ID 番号がすべて消去され、再設定されます。

詳細設定を行う

■ 詳細設定画面の表示

詳細設定画面では次の4つの項目が設定・表示できます。

- 機器設定
- ファームウェア更新
- 工場出荷時に戻す
- 言語

パソコンとTS-D1000-MUを接続（[P. 4](#)）した後、ブラウザ画面上部のメニューバーで詳細設定アイコンをクリックすると、設定項目の名称がプルダウンメニューで表示されます。希望の項目名をクリックすると、詳細設定画面にその内容が表示されます。



下記は機器設定を選択した例です。画面左上の下記の部分は、全項目共通です。



① 終了ボタン

クリックすると、録音画面に移動します。

② 画面リスト

詳細設定画面の各項目名が表示されます。
詳細設定画面の各項目を切り換えるときにクリックします。
現在表示されている項目の左側に橙色の印が付きます。

■ 機器設定

詳細設定アイコンをクリックして「機器設定」を選択する、または詳細設定画面で画面左側のリストから「機器設定」をクリックすると、機器設定の内容が表示されます。

← 詳細設定

> 機器設定 機器の設定

ファームウェア更新

工場出荷時に戻す

言語

①

ネットワーク

(A) ホスト名 ts-d1000 .local

(B) 物理アドレス (MAC) 00-05-F9-FF-A5-6D

(C) IPアドレスを自動的に取得する
 次のIPアドレスを使う

IPアドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

②

アカウント

(D) ユーザー名 tsd1000user

(E) 旧パスワード

(F) 新パスワード

(G) 新パスワード (確認)

③ 設定

① ネットワーク設定

ネットワーク関連の設定を行います。

	名称	説明
A	ホスト名	ホスト名を入力します。 工場出荷時設定：ts-d1000 <input type="text" value="メ モ"/> http://<ホスト名>.local がブラウザで接続するときの URL になります。(P.4「接続のしかた」)
B	物理アドレス (MAC)	TS-D1000-MU の MAC アドレスが表示されます。変更できません。
C	IP アドレス	IP アドレスを自動的に取得するとき： 「IP アドレスを自動的に取得する」ラジオボタンをクリックします。 任意の IP アドレスを設定するとき： 「次の IP アドレスを使う」ラジオボタンをクリックし、「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」を入力します。 <input type="text" value="メ モ"/> 「デフォルトゲートウェイ」を使用しない場合は、空欄にしてください。 工場出荷時設定：「IP アドレスを自動的に取得する」

② アカウント設定

ユーザーのアカウントを設定します。

	名称	説明
D	ユーザー名	ユーザー名を入力します。 工場出荷時設定：tsd1000user
E	旧パスワード	ユーザー名またはパスワードを変更するときに、現在のパスワード (工場出荷時設定：tsd1000pass) を入力します。
F	新パスワード	パスワードを変更するときに、新しいパスワードを入力します。
G	新パスワード (確認)	パスワードを変更するときに、確認のために新しいパスワードを入力します。上記「新パスワード」欄と同じパスワードを入力してください。

③ 設定ボタン

ネットワークまたはアカウントの設定を変更したいときにクリックします。設定が入力した内容に更新されます。

[機器の設定の手順]

1 必要に応じて、ネットワーク設定とアカウント設定欄に設定内容を入力する。

2 設定ボタンをクリックする。
確認ダイアログが表示されます。



3 実行ボタンをクリックする。
TS-D1000-MU が再起動し、設定した内容が適用されます。

■ ファームウェアを更新する

詳細設定アイコンをクリックして「ファームウェア更新」を選択する、または詳細設定画面で画面左側のリストから「ファームウェア更新」をクリックすると、ファームウェア更新の内容が表示されます。



① ファームウェア情報

現在のファームウェアの情報が表示されます。変更できません。

名称 : マスターコントロールユニットの品番「TS-D1000-MU」が表示されます。

バージョン: ファームウェアのバージョン番号が表示されます。

日付 : ファームウェアの作成日が表示されます。

● ファームウェアの更新のしかた

1 [ファイルを選択] ボタンをクリックする。
エクスプローラー画面が表示されます。

2 更新するファームウェアファイルを選択する。

3 開くボタンをクリックする。
ファームウェアファイルが選択され、[ファイルを選択] ボタンの右隣りにファイル名が表示されます。

4 更新ボタンをクリックする。
確認ダイアログが表示されます。

5 更新ボタンをクリックする。
ファームウェアが更新され、TS-D1000-MU が再起動します。

■ 工場出荷時の設定に戻す

詳細設定アイコンをクリックして「工場出荷時に戻す」を選択する、または詳細設定画面で画面左側のリストから「工場出荷時に戻す」をクリックすると、工場出荷時に戻すための内容が表示されます。

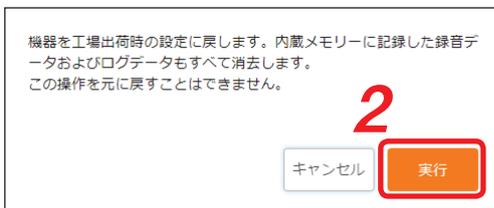
ご注意

工場出荷時の状態に戻すと、ネットワーク設定やアカウント設定も初期化され、パソコンとTS-D1000-MUが接続できなくなる場合があります。そのときはパソコンのネットワーク設定を「IPアドレスを自動的に取得する」に設定し、「接続のしかた (P.4)」を参照して再接続してください。(P.17「機器設定」)



工場出荷時の設定に戻すときの手順は次のとおりです。

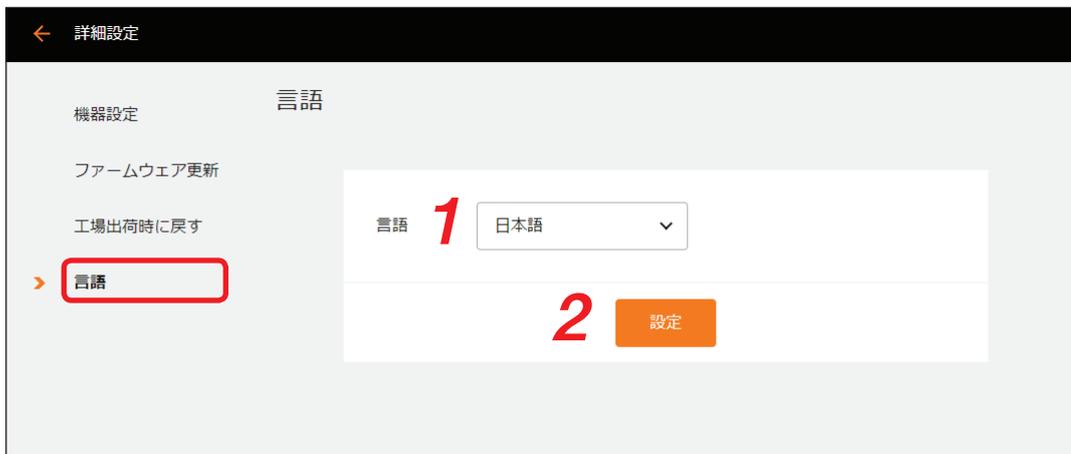
- 1 「工場出荷時に戻す」ボタンをクリックする。
確認ダイアログが表示されます。



- 2 実行ボタンをクリックする。
本機の設定が工場出荷時の状態になり、TS-D1000-MUが再起動します。

■ 使用する言語を設定する

詳細設定アイコンをクリックして「言語」を選択する、または詳細設定画面で画面左側のリストから「言語」をクリックすると、言語設定に関する内容が表示されます。



使用する言語を設定する手順は次のとおりです。

1 使用する言語をプルダウンメニューから選択して設定する。

設定範囲 : 日本語、English
工場出荷時設定 : 日本語

2 設定ボタンをクリックする。

使用する言語が設定され、画面の文字が選択した言語に切り換わります。

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル (固定電話専用)	
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)	0120-108-117 ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
<p>当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。</p>		

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

202211